

平成30年度

岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

資 料

平成30年5月14日（月）

ピュアリティまきび

3階「飛鳥」

目 次

I 平成 29 年度の取組実績について

1	会議の開催	1
2	重点取組事業	
(1)	おかやま・もったいない運動の推進	2
(2)	マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施	6
(3)	食品ロス対策	14
3	その他普及啓発事業	15

II 平成 30 年度の取組（案）について

1	会議の開催	17
2	重点取組事業	
(1)	おかやま・もったいない運動の推進	18
(2)	マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施	20
(3)	食品ロス削減の促進	22
3	その他普及啓発事業	23

I 平成 29 年度の取組実績について

1 会議の開催

平成 29 年度岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議に係る会議を次のとおり開催した。

(1) 第 1 回ワーキング会議

ア 日 時 平成 29 年 4 月 27 日 (木) 13 : 30 ~ 15 : 30
イ 場 所 県庁 9 階 環境文化部会議室
ウ 出席者 委員、事務局
エ 議 題 ・平成 28 年度の取組実績について
・平成 29 年度の取組 (案) について

(2) 本会議

ア 日 時 平成 29 年 5 月 12 日 (金) 13 : 30 ~ 15 : 30
イ 場 所 ピュアリティまきび 3 階「橘」
ウ 出席者 委員、事務局
エ 議 題 ・平成 28 年度の取組実績について
・平成 29 年度の取組 (案) について 他

(3) おかやま・もったいない! 小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト審査選考会

ア 日 時 平成 29 年 10 月 10 日 (火) 12 : 50 ~ 16 : 00
イ 場 所 県庁 9 階環境文化部会議室
ウ 出席者 審査員 3 名 (成田副会長、平島委員、笠原委員)

(4) 第 2 回ワーキング会議

ア 日 時 平成 30 年 2 月 19 日 (月) 10 : 00 ~ 12 : 00
イ 場 所 県庁分庁舎 1 階 102 会議室
ウ 出席者 委員、事務局
エ 議 題 ・平成 29 年度の取組実績について
・平成 30 年度の取組 (案) について

2 重点取組事業

(1) おかやま・もったいない運動の推進

「もったいない」をキーワードとして、循環型社会の形成に向けた 3R（発
生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル））と地
球温暖化防止についての県民一人ひとりの意識改革と実践活動を促すため、
「おかやま・もったいない運動」を次のとおり推進した。

ア 「おかやま・もったいない運動」推進フォーラムの開催

6月の環境月間及び10月の3R推進月間等に、県内3県民局が管内市町と
協働で開催した。

<5月>

- たまの・港フェスティバル 環境ブース
日 時：平成29年5月20日(土) 10時～17時
平成29年5月21日(日) 9時～16時
場 所：玉野市宇野港〔玉野市宇野〕
内 容：エコ工作体験コーナー、海ごみ展示コーナー等
来場者数：約500人

<6月>

- 井原市環境フェア
日 時：平成29年6月4日(日) 9時～12時
場 所：井原駅前広場・井原駅ビル〔井原市七日市町944-5〕
内 容：体験コーナー、展示コーナー、スタンプラリー等
来場者数：約1,800人
- 「親子エコフェスタ2017」
～地球の未来を守ろう みんなで3Rを学ぶ！～
日 時：平成29年6月11日(日) 10時30分～15時
場 所：津山圏域クリーンセンター〔津山市領家1446〕
内 容：体験コーナー、展示コーナー等
来場者数：約500人
- 「1日環境大学」
日 時：平成29年6月24日(土) 10時30分～17時
場 所：あわくらんど他〔西粟倉村〕
内 容：講義、見学、ワークショップ等
参加者数：92人（事前予約制）

<7月>

- 環境フェスタ in せとうち ～小さなエコが、大きなチカラに！～
日 時：平成 29 年 7 月 29 日(土) 10 時～13 時
場 所：ゆめトピア長船 [瀬戸内市長船町土師 277-4]
内 容：エコ工作体験コーナー、展示コーナー 等
来場者数：約 350 人

<9月>

- もったいないが地球を救う！ ～食品ロスからみえること～
日 時：平成 29 年 9 月 10 日(日) 14 時～16 時 30 分
場 所：岡山国際交流センター [岡山市北区奉還町 2-2-1]
内 容：講演、パネルディスカッション、試食等
来場者数：69 人

<10月>

- 第 13 回わっしょい和んさか吉備高原フェスタ
日 時：平成 29 年 10 月 1 日(日) 10 時～16 時
場 所：吉備高原都市センター区 さんさん広場周辺
[吉備中央町吉川 4860-6]
内 容：エコバッグ配布、体験コーナー、展示コーナー等
来場者数：約 400 人
- もったいないが地球を救う！第 2 弾
～食品ロス削減へ向けたワークショップ～
日 時：平成 29 年 10 月 9 日(月・祝) 13 時 30 分～16 時 30 分
場 所：ゆめトピア長船 [瀬戸内市長船町土師 277-4]
内 容：ワークショップ
来場者数：30 人
- 笠岡市環境フェスティバル
日 時：平成 29 年 10 月 21 日(土) 9 時 30 分～15 時
場 所：笠岡市民会館[笠岡市六番町 1-10]
内 容：体験コーナー、展示コーナー、スタンプラリー等
来場者数：約 1,500 人
- ぐるりんクルクル～省資源・省エネルギー展～
日 時：平成 29 年 10 月 29 日(日) 9 時 30 分～15 時
場 所：玉野市リサイクルプラザ[玉野市槌ヶ原 3072-1]
内 容：体験コーナー、展示コーナー、スタンプラリー等
来場者数：約 300 人

< 11月 >

- もったいないが地球を救う！第2弾
～食品ロス削減へ向けたワークショップ～
日 時：平成29年11月19日(日) 13時30分～16時30分
場 所：玉野市立中央公民館 [玉野市宇野 1-38-1]
内 容：ワークショップ
来場者数：28人

< 3月 >

- おひなさまフェスタ
日 時：平成30年2月25日(日)～3月3日(土)
場 所：リサイクルプラザ・おく[瀬戸内市邑久町尾張 483-6]
内 容：手作り体験コーナー、リサイクル品を活用したおひなさま等の展示、パネル展示等
来場者数：806人

イ おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト

県内の小学生とその家族を対象に、夏休みを中心とした期間に家庭でできる「3R推進」や「地球温暖化防止」に向けた取組にチャレンジした報告を募集し、優秀な取組を表彰した。

- 応募数 15校、329点
- 受賞者 個人の部（最優秀賞1名、優秀賞5名、努力賞10名）
団体の部（最優秀賞1校、優秀賞3校）

※ 表彰式（「アースキーパーのつどい2017」において開催）

- 日 時：平成29年12月16日(土) 11時～12時
- 場 所：岡山コンベンションセンター
2階レセプションホール・ロビー
- 参集者：主催者、受賞者、保護者等 約200名
- 内 容：主催者挨拶、表彰状授与、講評、記念撮影 等

※ 作品展示会

平成29年度の受賞作品について、県内6箇所で開催した。

- 新見会場
展示期間：平成29年12月23日(土)～28日(木)
展示場所：まなび広場にいみ 1階 ギャラリー
- イオンモール倉敷会場
展示期間：平成30年1月13日(土)～19日(金)
展示場所：イオンモール倉敷 1階 展示スペース

- ライフパーク倉敷会場
展示期間： 平成30年1月26日（金）～27日（土）
展示場所： ライフパーク倉敷 会議室
- 和気会場
展示期間： 平成30年1月31日（水）～2月4日（日）
展示場所： 学び館「サエスタ」 1階 ギャラリー
- 県庁会場
展示期間： 平成30年2月6日（火）～9日（金）
展示場所： 県庁1階 県民室
- 真庭会場
展示期間： 平30年2月10日（土）～29日（月）
展示場所： ゆめタウン久世

(2) マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施

ア 岡山県統一ノーレジ袋デーの取組について

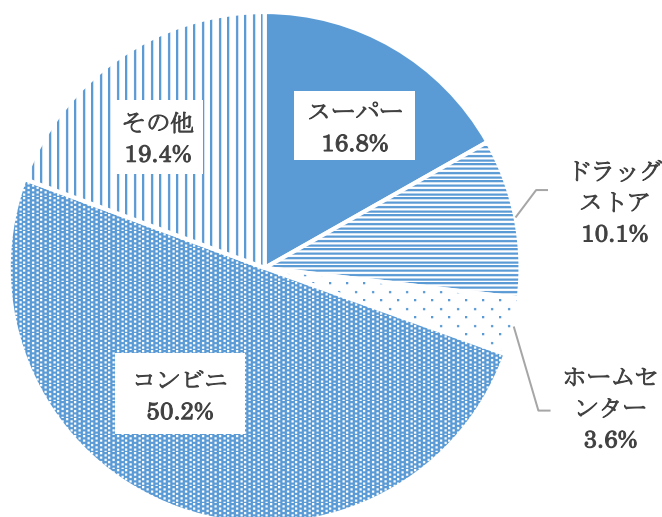
(ア) 参加店舗の現状

現在の参加店舗数は、1,529 店舗（平成 30 年 4 月 1 日現在）で、昨年度同期の 1,553 店舗に比べ 24 店舗減少している。

内訳は、チェーン店などのグループ店が 1,356 店舗（88.6%）、個人の小売店が 174 店舗（11.4%）で、業態別では、スーパーマーケットが 258 店舗（16.9%）、ドラッグストアが 154 店舗（10.1%）、ホームセンターが 55 店舗（3.6%）、コンビニエンスストアが 767 店舗（50.1%）、その他が 296 店舗（19.3%）となっている。

市町村別では、新庄村、西栗倉村以外の 25 市町に参加店があり、岡山市が 39.3%と一番多く、次いで倉敷市が 21.6%、津山市が 6.3%となっている。

<業態別内訳>



<市町村別内訳（上位 10 市）>

	市町村名	店舗数	構成比
1	岡山市	601	39.3%
2	倉敷市	330	21.6%
3	津山市	96	6.3%
4	新見市	53	3.5%
5	真庭市	46	3.0%
6	総社市	44	2.9%
7	玉野市	42	2.7%
7	赤磐市	42	2.7%
9	瀬戸内市	35	2.3%
10	笠岡市	34	2.2%

(イ) レジ袋辞退率の推移

平成 30 年 2 月の平均辞退率は 23.3%で、平成 29 年 4 月～平成 30 年 2 月までの辞退率は、22%台～24%台となっている。

実施日	H29. 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H30. 1月	2月
平均 辞退率 (%)	24.1	23.0	22.9	23.0	22.8	23.1	24.0	23.1	23.2	23.1	23.3
スーパーマ ケットの 辞退率 (%)	24.8	25.1	24.2	23.8	23.2	24.2	24.8	23.8	23.8	23.9	23.8

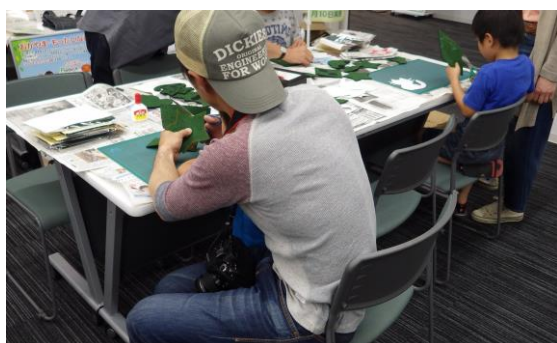
(ウ) 普及啓発の状況

① 若い世代へ働きかける各種啓発を行った。

- ・小学生・・・環境学習に取り組む県内の小学校 4 年生約 2 万人にクリアファイルを配布した。
- ・大学生・・・入学式での啓発（7 大学約 1,700 人にチラシ等配布）、
「おかやまマイバッグキャンペーン」岡山駅での啓発にノートルダム清心女子大学の学生が参加。
- ・新成人・・・成人式での啓発（25 市町村約 7,700 人にチラシ配布）

② イベントでの普及啓発

巡回エコ製品等普及展示会やおかやま・もったいない運動推進フォーラムで、展示や来場者への啓発品の配布などを行った。



(平成 29 年 6 月 11 日 津山市)



(平成 29 年 7 月 29 日 瀬戸内市)

③ テレビ、ラジオ、広報紙等の広報媒体の活用

「岡山県統一ノーレジ袋デー」については、OHK テレビ、RSK ラジオ、FM おかやまでのお知らせ、県政広報資料、NHK データ放送、ホームページ、フェイスブック掲載などにより周知を図った。

(エ) 啓発資材の作成及び送付
 啓発グッズ（のぼり旗、ポスター、ステッカー、チラシ、レジ袋辞退カード）を、希望する事業者（店舗）、市町村等に送付した。



イ おかやまマイバッグキャンペーンの取組について

(ア) 街頭や店頭での普及啓発活動

県循環型社会推進課、各県民局、各市町村などが主体となり事業者（店舗）や環境団体と協働して、6月と11月にJ R岡山駅及び県内各参加店舗の店頭等において、チラシ及び啓発品等を配布し、普及啓発活動を実施した。

○ J R岡山駅前（6月9日）
 県（備前県民局と合同）・岡山市



○ 備前市（11月10日）



(イ) 新聞、ラジオ、広報紙等などの広報媒体の活用

OHK テレビ、RSK ラジオ、NHK データ放送、ホームページ、フェイスブック等で「おかやまマイバッグキャンペーン」についてお知らせした。

また、各市町村発行の広報紙等において広報を行った。

○ 広報紙

(笠岡市)

**マイバッグの利用
をお願いします**

環境課
☎(082) 388015

◎11月は「おかやまマイバッグキャンペーン（マイバッグ持参強化月間）」です

市ではスーパーマーケットや消費者、環境団体などと協力して強化月間に啓発活動を行います。

市内に暮らす皆さんが、レジ袋を使わず1年間マイバッグで買い物をする

- ・削減枚数 約1500万枚
- ・削減量 約103トン
- ・削減できる二酸化炭素の排出量 約465トン

レジ袋を必要枚数のみにすることで、ごみの減量や、地球温暖化の防止にもつながります。包装が少ない商品、再使用できる容器や詰め替え製品を選ぶなど、環境にやさしい生活を始めましょう！

(ウ) 啓発資材の作成及び送付

「おかやまマイバッグキャンペーン」の普及啓発を目的とし、啓発ポスターを作成し、参加事業者（店舗）及び市町村等に送付した。

また、「マイバッグ持参」を基調としたチラシ及びティッシュを作成し、市町村等に送付した。

ポスター



チラシ



ポケットティッシュ



(エ) 岡山県立図書館連携展示

県立図書館 1 階エントランス付近において、ポスター等印刷物、関連図書等を展示することにより、普及啓発及び情報提供を行った。

- 平成 29 年 5 月 16 日 (火) ～ 6 月 18 日 (日)

「ごみ減量と地球環境～環境月間～」

展示内容：マイバッグ運動、環境月間、3R、食品ロス削減等



連携展示「ごみ減量と地球環境～環境月間～」 (H29. 5. 16～6. 18)

ウ マイバッグ持参率等アンケート調査について

マイバッグ持参率等を把握するため、平成 30 年 1 月～3 月に、県内 15 店舗で実施することとし、株式会社東京商工リサーチ岡山支店に委託した。(資料 1)

- (ア) 調査数 合計 3,000 人(1 店舗につき 200 人)
- (イ) 調査方法 買物客への聞き取り調査又は直接記入
- (ウ) 調査結果

- ・ マイバッグ持参率 (マイバッグ持参回数が 10 回のうち 8 回以上の人の割合)
48.0 % (平成 28 年度 : 46.4%)
* マイバッグを持っている人だけを分母とした場合の上記比率
58.9% (平成 28 年度 : 57.2%)
* マイバッグ所有率
81.4 % (平成 28 年度 : 81.1%)
- ・ レジ袋が有料になった場合、「マイバッグを持っていく」と答えた人の割合
71.5 % (平成 28 年度 : 73.7%)
- ・ 「有料化している店舗をどう思うか」
賛成 25.9 % (平成 28 年度 : 27.7%)
仕方がない 64.5 % (平成 28 年度 : 63.8%)
合計 90.4 % (平成 28 年度 : 91.5%)

エ 県内のレジ袋無料配布中止の状況について

(ア) 実施状況

現在、レジ袋無料配布中止を実施しているのは、16 事業者 33 店舗である。
(県把握分)

市町村別レジ袋無料配布中止店舗一覧

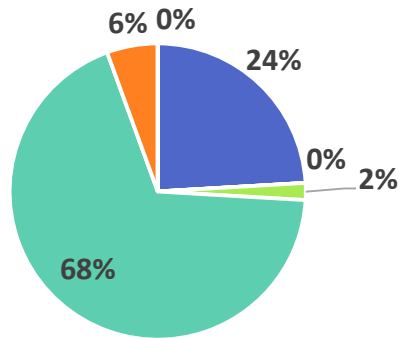
*平成30年2月20日現在

市町村名	事業者名	店舗名	備考
岡山市	イオンリテール(株)	イオン岡山店	1枚 LL5円、L3円
	生活協同組合おかやまコープ	コープ大野辻	1枚 5円(募金方式)
		コープ大福	
		コープ西大寺	
		コープ東川原	
		コープ福富	
	大黒天物産(株)	ディオ岡山北店	1枚 3円
	(株)トライアルカンパニー	スーパーセンタートライアル東岡山店	1枚 3円
(株)ミスターマックス	ミスターマックス岡山西店	1枚(大)5円、(中)3円	
エコロジー&ナチュラルフーズらんらん亭	—	1枚 金額任意(募金方式)	
倉敷市	イオンリテール(株)	イオン倉敷店	1枚 LL5円、L3円
	生活協同組合おかやまコープ	コープ北畝	1枚 5円(募金方式)
		コープ倉敷北	
	大黒天物産(株)	ディオ真備店	1枚 5円
(株)トライアルカンパニー	スーパーセンタートライアル倉敷店	1枚 3円	
津山市	イオンリテール(株)	イオン津山店	1枚 LL5円、L3円
	大黒天物産(株)	ラ・ムー津山店	1枚 5円
	生活協同組合おかやまコープ	コープ林田	1枚 5円(募金方式)
総社市	生活協同組合おかやまコープ	コープ総社東	1枚 5円(募金方式)
備前市	(株)ヒナセショッピングセンター	旬鮮食彩館 パオーネ日生店	1枚 (大)5円 (小)3円
赤磐市	生活協同組合おかやまコープ	コープ山陽	1枚 5円(募金方式)
浅口市	生活協同組合おかやまコープ	コープ鴨方	1枚 5円(募金方式)
和気町	岡山東農業協同組合	JAグリーン和気店	1枚 5円
		JAグリーン佐伯店	
		和気営農物流センター	
	オプタイムおか	—	1枚 5円
グリーンストアーさわだ	—	1枚 5円	

(株)コメリ	コメリハードアンドグリーン 和気店	1枚 5円
(株)太陽コーポレーション	サンモール店	1枚 5円
(株)天満屋ストア	ハッピーマート和気店	1枚 5円
(有)林薬局	林薬局	1枚 5円
(有)ビッグモリーズ	ビッグモリーズ	1枚 5円
マックスバリュ西日本(株)	ザ・ビッグ和気店	1枚 5円

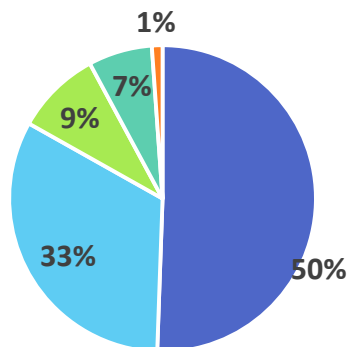
オ 事業者へのアンケート

問1 キャンペーン期間中の変化



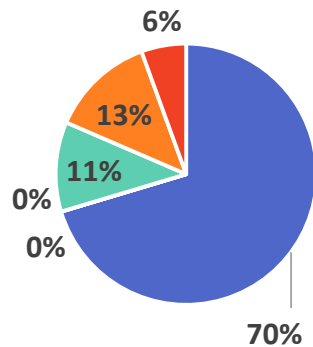
- ① レジ袋を受け取らない人(マイバッグを持参する人)が増えた。24%
- ② 苦情が増えた。 0%
- ③ 万引きが増えた。2%
- ④ 特に変化はなかった。68%
- ⑤ その他 6%
- ⑥ 無回答 0%

問2 キャンペーン実施内容



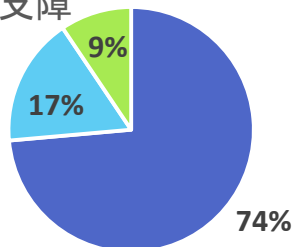
- ① ポスターの掲示 50%
- ② レジでの声かけ 33%
- ③ 店頭啓発活動の受け入れ 9%
- ④ その他 7%
- ⑤ 無回答 1%

問3 今後の取組



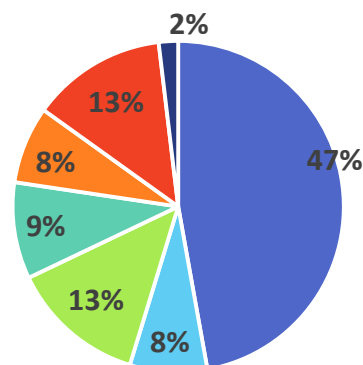
- ① 来年度も同様に6月と11月に強化月間を設ける。70%
- ② 来年度も同様に2回強化月間を設けるが、実施時期を変更する。0%
- ③ 来年度も強化月間を設けるが、実施期間や実施回数を変更する。0%
- ④ 「岡山県統一ノーレジ袋デー」(毎月10日実施)のみとする。11%
- ⑤ その他 13%
- ⑥ 無回答 6%

問4 レジ袋削減の支障



- ① ない 74%
- ② ある 17%

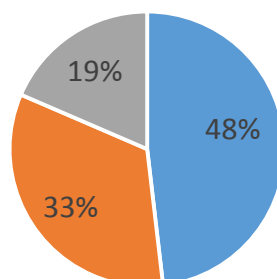
問5 無料配布中止についての考え



- ① 当面、実施しない。今後、実施する見込みもない。47%
- ② 当面、実施しないが、他に(1社でも)実施希望の事業者(店舗)があれば、実施したい。8%
- ③ 当面、実施しないが、多くの実施希望の事業者(店舗)があれば、実施したい。13%
- ④ 現在、実施を検討中。9%
- ⑤ 既に実施中。8%
- ⑥ その他 13%

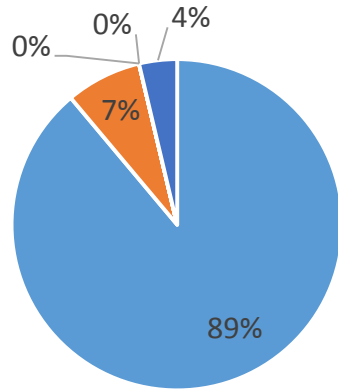
カ 市町村へのアンケート

問1 キャンペーンの効果



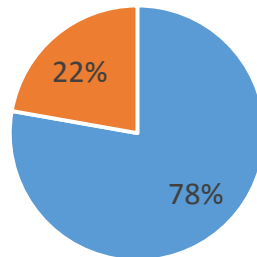
- ① マイバッグを持参する意識が高まったと感じた。48%
- ② 特に効果は感じなかった。33%
- ③ その他 19%

問2 今後の取組



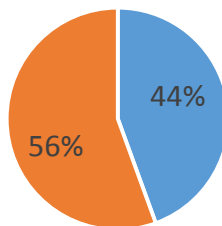
- ① 来年度も同様に6月と11月に強化月間を設ける。89%
- ② 来年度も同様に2回強化月間を設けるが、実施時期を変更する。7%
- ③ 来年度も強化月間を設けるが、実施期間や実施回数を変更する。0%
- ④ 「岡山県統一ノーレジ袋デー」(毎月10日実施)のみとする。0%
- ⑤ その他 4%

問3 レジ袋削減取組の支障



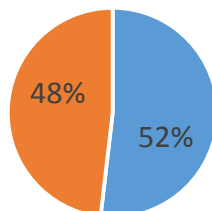
- ① ない 78%
- ② ある 22%

問4 レジ袋削減取組の更なる必要性



- ① ない 44%
- ② ある 56%

問5 食品ロス削減の取組



- ① していない 52%
- ② している 48%

(3) 食品ロス削減の促進について

日本では、年間 2,842 万トンの食品廃棄物等が出されており、このうち、まだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は 646 万トンもあるといわれている。(環境省・農水省「平成 27 年度推計」)

こうした状況を受け、県では、昨年度から食品ロスの削減を県民に広く呼びかけている。

◎おかやま 30・10 運動

「30・10 (さんまる いちまる) 運動」とは・・・

- ・宴会時に最初の 30 分、最後の 10 分は席に座り、料理をおいしくいただき、食べ残しを減らす運動。
- ・平成 23 年 (2011 年) に長野県松本市が提唱し、現在類似の運動を含めて、多くの自治体に広がっている。

○夏のおかやま 30・10 運動 — のこサマ〜で〜♪

- ・取組期間：平成 29 年 7 月 14 日～8 月 31 日
- ・スタートキャンペーン：佐藤副知事、部幹部が、経済団体等に対し、取組への参加要請を行った。

○秋のおかやま 30・10 運動 — 食べ残し〇 (ゼロ・宴) 会

- ・取組期間：平成 29 年 10 月 25 日～11 月 24 日
- ・食品ロス削減の趣旨に賛同した飲食店の協力を得て、利用者が食べ残しゼロを達成した場合に、特典を提供する取組を実施した。

○冬のおかやま 30・10 運動 — おいしく残さず食べきろう!

- ・取組期間：平成 29 年 12 月 1 日～平成 30 年 1 月 31 日
- ・「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」(事務局：福井県) が行う全国一斉の「外出時の『おいしい食べきり』全国共同キャンペーン」に合わせて呼びかけを実施した。

◎みんなでチェック! わが家のごみ — ごみ削減プロジェクト

平成 29 年 10 月 1 日～11 月 30 日までの期間、食品ロス削減等を意識し、工夫しながらごみ削減に取り組んでいただくことを目的とした県民参加プロジェクトを実施した。

◎食品ロス削減ヒント集「食品と家計のもったいないを減らそう!」

各家庭で食品ロスを減らすポイントとなる「買いすぎず」「使いきる」「食べきる」の 3 つの切り口で具体的なアクションを分かりやすく記載した小冊子を作成した。

◎その他啓発

- ・新聞広告の掲載、啓発資材の作成、ホームページ掲載等
- ・「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」との連携

3 その他普及啓発事業

(1) 岡山エコ事業所認定制度の普及啓発

事業所における排出抑制、グリーン調達の促進等を図るため、岡山エコ事業所認定制度（ゼロエミッション事業所、一般事業所、小売店）の周知を図るとともに認定を実施した。

○ 認定件数（平成30年3月31日時点）	256事業所
・ 排出抑制、再利用に取り組む「ゼロエミッション事業所」	56事業所
・ 再生品を使用する「一般事業所」	42事業所
・ 再生品等を販売する「小売店」	158事業所

(2) 岡山県エコ製品認定制度の普及啓発

再生品の需用を喚起し、資源の循環的な利用を促進するため、岡山県エコ製品認定制度の普及啓発に努めるとともに認定を行った。

○ 認定件数（平成30年3月31日時点）	370製品
----------------------	-------

*巡回エコ製品等普及展示会等において、岡山県エコ製品認定制度と岡山エコ事業所認定制度のPRを同時に行った。

	(開催日)	(来場者数)
ア 井原市環境フェア（井原市）	平成29年6月4日	約1,800人
イ 親子エコフェスタ2017（津山市）	平成29年6月11日	約500人
ウ 1日環境大学（西粟倉村）	平成29年6月24日	92人
エ 環境フェスタinせとうち	平成29年7月29日	約350人
オ 第13回わっしょい和んさか吉備高原フェスタ（吉備中央町）	平成29年10月1日	約400人
カ 笠岡市環境フェスティバル（笠岡市）	平成29年10月21日	約1,500人
キ くるりんクルクル～省資源・省エネルギー展～（玉野市）	平成29年10月29日	約300人
ク 中四国環境ビジネスネットB-netフォーラム2017（岡山市）	平成29年11月28日	約150人

*常設展示（テクノサポート岡山）

- (ア) 展示期間 平成25年7月～
- (イ) 展示場所 テクノサポート岡山 1F（アルコープ）展示室
（岡山市北区芳賀5301）

*その他、県のホームページへの掲載、普及啓発パンフレット・ポスターの作成、配布等の各種広報を行った。

(3) 海ごみ対策の普及啓発

ア 平成 27 年度から、国庫補助金を活用し、市町村の海ごみ対策支援を実施するとともに、平成 28 年 3 月に「岡山県海岸漂着物等対策推進地域計画」を策定。

イ 平成 28 年度からは、国庫補助金を活用し、市町村への補助に加え、県として普及啓発事業を実施。

- ・ 啓発資材の作成
 手引きの作成
 パネル、展示物、リーフレット、クリアファイルの増刷

- ・ 県下全域での写真等展示会の開催
 「写真や引揚物で知る海ごみ展示会

～私たちのポイ捨てが瀬戸内海の家ごみになっている！？～

- ◆平成29年 8 月25日～31日、岡山県庁
- ◆平成29年11月 1 日～ 7 日、高梁市立図書館
- ◆平成29年12月 2 日～ 7 日、イオンモール津山
- ◆平成29年12月23日～28日、まなび広場にいみ
- ◆平成30年 1 月13日～19日、イオンモール倉敷
- ◆平成30年 1 月16日～21日、さん太ギャラリー（山陽新聞社）
- ◆平成30年 1 月26日～27日、ライフパーク倉敷
- ◆平成30年 1 月31日～ 2 月 4 日、学び館サエスタ（和気町）
- ◆平成30年 2 月10日～19日、ゆめタウン久世（真庭市）

- ・ 新聞広告掲載（山陽新聞 10/29、11/5）



II 平成 30 年度の取組(案)について

1 会議の開催

(1) 本会議

ア 日 時	平成 30 年 5 月 14 日(月)
イ 場 所	ピュアリティまきび
ウ 出席者	委員、事務局
エ 議 題	・平成 29 年度の取組実績について ・平成 30 年度の取組(案)について

(2) おかやま・もったいない!小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト審査選考会

ア 日 時	平成 30 年 10 月
イ 場 所	岡山市内
ウ 出席者	審査員 4 名

(3) ワーキング会議

ア 日 時	平成 31 年 1 月下旬
イ 場 所	岡山市内
ウ 出席者	委員、事務局
エ 議 題	・平成 30 年度の取組実績について ・平成 31 年度の取組(案)について

(5) レジ袋削減検討会 必要に応じて開催する。

2 重点取組事業

(1) おかやま・もったいない運動の推進

「もったいない」をキーワードとして、循環型社会の形成に向けた 3R（発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル））と地球温暖化防止についての県民一人ひとりの意識改革と実践活動を促すため、「おかやま・もったいない運動」を実施しており、平成 30 年度は次のとおり行う。

ア 「おかやま・もったいない運動」推進フォーラムの開催

● 目 的：

「循環型社会形成（もったいない）」をテーマに、県民が日常生活の中で実践できることを講演、活動事例発表、パネルディスカッション等を通じて提示するとともに、県の 3R 関連施策や環境団体（NPO 法人、地域団体、学校等）の活動内容について展示するブースを設置することにより、広く情報の発信・収集・交換を図るイベントとする。

3 県民局ごとに実施する「環境保全普及啓発事業」に併せて実施する等地域の状況に応じた内容で実施する。

< 6月 >

- 「1日環境大学」
日 時：平成30年6月2日(土)
場 所：鏡野町一円

- 井原市環境フェア
日 時：平成30年6月3日(日)
場 所：井原駅前

- 「親子エコフェスタ2018」
日 時：平成30年6月10日(日)
場 所：津山中心商店街及びアルネ津山

<10月 >

- ぐるりんクルクル～省資源・省エネルギー展～
日 時：平成30年10月頃
場 所：玉野市

<11月 >

- 新見市みんなのエコフェスタ2018
日 時：平成30年11月頃
場 所：新見市

- エコフェスタびぜん
日 時：平成30年11月頃
場 所：備前市

イ おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテストの開催

- 目的：

もったいない精神の普及、3Rに対する意識の高揚、再生品の使用促進を図るため、小学生を対象として家庭で3Rや地球温暖化防止に向けた取組を行うコンテストを実施する。
- 主催等（予定）：

主催：岡山県・岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議
共催：地球温暖化防止プロジェクト推進会議、公益財団法人岡山県環境保全事業団
後援：岡山県教育委員会
- 対象者：県内に住んでいる小学生とその家族
- 募集方法：5月下旬頃、県内全小学校に募集案内を送付
- 応募期限：平成30年9月18日
- 取組内容：

平成30年8月31日までの1週間、小学生とその家族が、買物、食事、入浴など家庭での日常生活を通じて、ごみの減量や省エネ等に向けた改善策を工夫し実践する。

(A) ごみゼロチャレンジ…買物や食事など、日常生活を通じた3Rに向けた取組

(B) 温暖化防止チャレンジ…電気や水の節約など、温暖化防止の取組
- 応募方法：取組結果を報告用紙に記入の上、提出
- 表彰：

(個人の部)

・最優秀賞	1名	表彰状・副賞（5千円相当）
・優秀賞	5名	表彰状・副賞（3千円相当）
・努力賞	10名	表彰状・副賞（2千円相当）
・参加賞	応募者全員	

(団体の部)

・最優秀賞	1学校	表彰状・副賞（1万円相当）
・優秀賞	若干	表彰状・副賞（5千円相当）
- 選考方法：

岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議委員代表による選考委員会において審査の上、決定
- 表彰式：12月(予定)に岡山市内で行う。

(2) マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施

ア 岡山県統一ノーレジ袋デー

毎月10日を岡山県統一ノーレジ袋デーとして、マイバッグを持参し、レジ袋を受け取らないようにする運動を全県的に実施する。

- 事業者の役割
 - ・レジ精算時に「声かけ」を行い啓発する。（レジ袋辞退カードの活用）
 - ・店頭などに、のぼり旗、ポスター等を掲出して啓発する。
 - ・「ノーレジ袋デー」当日のレジ袋辞退率を算定し、県に報告する。
- 消費者・環境団体等の役割
 - ・店舗の店頭等で、「声かけ」、「チラシ配布」などの啓発活動を行う。
- 行政（県・市町村）の役割
 - ・広報紙やポスター等の啓発資材により広報・啓発する。（県・市町村）
 - ・消費者・環境団体等が行う店頭啓発活動を支援する。（市町村）
 - ・統一的な啓発資材（のぼり旗、ポスター等）を作成し、配布する。（県）
 - ・事業者から報告されたレジ袋辞退率をとりまとめて公表する。（県）

イ おかやまマイバッグキャンペーン

県、各市町村が主体となり、消費者・環境団体、事業者（店舗）と協力して、街頭や店頭でのレジ袋削減の普及啓発活動（PR）を実施する。

- 期間：平成30年6月及び11月
- 場所：街頭（JR等の駅前）や参加事業者（店舗）の店頭など
- 内容：
 - チラシやポケットティッシュ等の啓発グッズを配布するなど普及啓発活動（PR）を行い、一般県民（住民）に協力を呼びかける。

- 事業者（店舗）
 - 行政からの要請があれば、店頭の一部を無料で提供
 - 声かけ、ポスター掲示等の協力
- 消費者・環境団体等
 - 行政からの要請があれば、啓発活動（PR）に協力
- 行政（県・市町村）
 - ・広報紙などへの掲載（文例は県で作成し、市町村へ提供）
 - ・PRを行う場所の選定及び調整
 - ・街頭や店頭等での普及啓発活動
 - ・消費者・環境団体等が行う啓発活動の支援
 - ・普及啓発活動（PR）のプレス発表

ウ 若者層への啓発

環境学習時や自主的な買い物行動が増えていく時期に「マイバッグ持参」の意識を高める。

- 小学4年生への啓発品（クリアファイル）配布
- 街頭啓発等への大学生の参加呼びかけ（山陽学園大学・同短期大学）
- 大学入学式での啓発（合計13大学 3,250人にチラシ等を配布）
- 各市町村成人式での啓発（チラシ等配布）

エ 啓発資材の作成及び送付

のぼり旗、ポスター、チラシ、ステッカー、レジ袋辞退カード等啓発グッズを作成し、参加事業者（店舗）、市町村等に送付する。

また、家庭内で児童から家族へ働きかけてもらうため、環境学習に取り組む小学校4年生の児童（県内約20,000人）に啓発品（クリアファイル）を配布する。

オ レジ袋無料配布中止（有料化）の取組

レジ袋無料配布中止を行う事業者を広報等で支援するとともに、レジ袋削減のためのポイント付与等を実施している事業者の取組について県のホームページやフェイスブックで引き続き紹介し、実施に向けての推進方策を検討していく。

カ 平成30年度のマイバッグ持参率の目標値

以上の啓発活動により、「マイバッグ持参率50%以上」を目指す。

◎マイバッグ持参率等アンケート調査 <マイバッグ持参率の推移>

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H28	H30 (目標)
持参率	44.1%	45.2%	43.3%	44.5%	46.2%	45.8%	46.4%	48.0%	50.0%以上

(3) 食品ロス削減の促進について

◎おかやま・もったいない!のこさずたべよう促進事業

①地域を学んでのこさずたべよう

若い世代の食品ロス削減意識の醸成のため、食品がつくられるまでの労力や食品がうまれてくる地域の土壌・気候・風土等に係る研究フィールドワーク、若者の視点や発想を生かした小学生が取り組みやすい教材の作成及び小学校への出前講座等について、大学の研究室等が行う研究活動を支援する。

倉敷市	倉敷市立天城小学校	ノートルダム清心女子大学
新見市旧大佐町	新見市立刑部小学校	岡山大学
和気町	和気町立本荘小学校	山陽学園短期大学

②のこさずたべよう料理レシピコンテスト

消費者からごみの減量につながる料理レシピを募集し、優秀レシピを掲載したレシピ集を作成する。

③のこさずたべようイベント

県内1カ所で、上記①～②についての取組の周知と、レシピコンテストの投票審査を実施するイベントを、サルベージパーティも含め開催する。

◎みんなでチェック!わが家のごみ

一般家庭を対象に、自分の家庭のごみ発生量を把握することにより、ごみの削減意識の呼び起こしを図る。効果的なごみ減量化方法を提示しながら参加家庭を募集し、参加家庭は、家庭内のごみの発生量を測定し、発生量及び減量化の工夫とともに報告する。ごみを計測することによる「見える化」でごみ削減意識の高揚を図る。

◎食品ロス・家庭ごみ削減ヒント集(第2版)作成

一般家庭向けに食品ロスについての意識を高めるための啓発資材として、家庭で取り組める方策を提示する小冊子を作成・配布する。

◎おかやま30・10運動

宴会時に最初の30分、最後の10分は席に座り、料理をおいしくいただき、食べ残しを減らす運動につき、平成29年度に引き続き、PRにつとめる。

◎その他啓発

- ・新聞広告の掲載、啓発資材の作成、ホームページ掲載等
- ・「全国おいしい食べきり運動ネットワーク」との連携

3 その他普及啓発事業

- (1) 岡山エコ事業所（一般事業所・小売店・ゼロエミッション事業所）認定制度や認定事業所の取組及び岡山県エコ製品認定制度を広く周知することにより、グリーン調達等の促進を図る。
- (2) 3R推進につながる各種取組の情報提供を行う。
- (3) 県立図書館連携展示
平成30年5月22日(火)～6月17日(日)
- (4) 海ごみ対策の普及啓発
 - ・海と川と山、環境と文化をつなぐ美化意識啓発事業
県下全域での海ごみ発生抑制を図るため、各地域の独自性の観点を持った学習活動や清掃イベントを下流から上流に向けて拡大させていくとともに、瀬戸内海沿岸各県の連携による海ごみに関するフォーラムを開催する
 - ①三大河川流域啓発リレーの実施（県内9か所 3大河川×3団体）
 - ②海ごみフォーラムの開催（県内1回開催）
 - ・海へと続く美化意識啓発事業
海ごみの大半が、河川を通じて流れ込む生活系のごみであるという海ごみの現状を周知し、当事者意識の醸成と自らが実践できる取組を進めるための意識啓発を実施し
 - ①の実施に当たっては、マイクロプラスチックにも着目し、日常生活におけるプラスチックごみの排出抑制の観点から、マイバッグ運動とも関連を持たせた内容も盛り込む。
 - (ア) 海ごみ対策啓発展示会の開催（年6回程度）
 - (イ) 海ごみ啓発資材の作成、広報媒体掲載（山陽新聞2回掲載）
 - (ウ) 海ごみ対策の県市町村連絡調整会議の開催
 - ・海ごみクリーンアップ事業
市町村による海ごみの回収・処理及び発生抑制対策にかかる事業費について、補助金として交付する。
 - ・広報媒体の掲載
海ごみ対策の周知を目的とした新聞広告掲載等の実施